

会 議 議 事 録 (要旨)

1 会議名	令和7年度 第1回 長岡市地域公共交通協議会
2 開催日時	令和7年6月27日(金曜日) 午前10時00分～午前11時40分
3 開催場所	フェニックス大手イースト まちなかキャンパス3階 301会議室
4 出席者名	太刀川会長、佐野副会長、大関委員、中山委員(代理：佐山様)、橋本委員、小川委員、小出委員、宇佐美委員、石黒委員(代理：兒島様)、横山委員(代理：乙川様)、山本委員、小林委員、嶋委員、横澤委員 【欠席】新倉委員、大平委員
5 議決事項	(1) 令和6年度事業報告及び令和6年度歳入歳出決算報告 (2) 地域公共交通計画認定申請書
6 協議事項	(1) 地域内生活交通の利用状況 (2) 交通空白地対策について (3) 令和7年度事業内容
7 協議結果の概要	・議決事項(1)～(2)について承認された。
8 審議の内容	
【その他】	委員の交代について
事務局	・長岡国道事務所の水口委員が小出委員と交代。 ・長岡地域振興局の神田委員が宇佐美委員と交代。 ・長岡市土木部の太刀川委員が石黒委員と交代。 ・新潟県警察本部の寒河江委員が横山委員と交代。 ・新潟運輸支局の塩原委員が嶋委員と交代。
【その他】	・監査委員について ・事務局より、山本委員と横澤委員を推薦し、了承を得た。
【議決事項】	(1) 令和6年度事業報告及び令和6年度歳入歳出決算報告
事務局	資料に基づき、議決事項(1)を説明。
委員	・会計監査を行い、歳入・歳出に関する帳簿並びに書類等は、いずれも適正に処理されていたことを確認した。 (以下、質疑応答)
委員	・デマンド型乗合タクシーはタクシー事業者が運行し、コミュニテ

	ィバスは NPO 法人が運行しているという解釈でよろしいか。
事務局	・ その通りである。
委員	・ 国庫補助金について、補助対象がデマンド型乗合タクシーのみとなっているが、コミュニティバスは補助の対象外なのか。
事務局	・ デマンド型乗合タクシーには国の補助制度があるが、コミュニティバスは国の補助制度がないため、コミュニティバスは長岡市から補助金を出している。
会長	・ 議決事項(1)を承認してよいか。
	(承認された)
【議決事項】	(2) 地域公共交通計画認定申請書
事務局	資料に基づき、議決事項(2)を説明。 (以下、質疑応答)
委員	・ P40 について、「一月あたり」の表記が紛らわしいので、修正したほうがよいのではないか。
事務局	・ 検討する。
副会長	・ P7 の事業の目標値において、②は「以上」と記載があるが、①及び③は「以上」や「未満」の表記がない。
事務局	・ 確認し、必要に応じて修正する。
副会長	・ ①及び③の目標値を維持する場合、路線を減らすなど収支率を良くする取組を行う必要があると思われるが、そのような計画になっているのか。
事務局	・ 人口が減少していくため、全体の財政負担額に増減がない場合、単純に1人あたりの財政負担額は増加していく。そのため、路線の効率化等で全体の財政負担額の削減に努めていきたいと考えている。

会長	・議決事項(2)を承認してよいか。 (承認された)
【協議事項】	(1) 地域内生活交通の利用状況
事務局	資料に基づき、協議事項(1)を説明。 (以下、質疑応答)
副会長	・法末線と八王子線について、年間利用者数がかなり少ないため、ほかの仕組みを考えていく必要があると思われる。例えば、少人数を地域でサポートする取組やタクシー券の配布などが考えられるため、地域の方々と協議をしてもらえたらと思う。
事務局	・平均乗車人員が1を切った場合、地域での支え合いやほかの手段を模索する必要があると考えており、地域に入ってボランティア等を探すなど現在手法を検討・研究している。
副会長	・利用人数の報告だけでなく、費用に関する記載もすることでより議論が進むと思われる。
事務局	・次回から記載する。
会長	・将来的に利用者が増加する見込みはあるのか。
事務局	・特に支所地域では人口減少が顕著であるため、利用が増えることは難しいと考えられる。少ない利用者の特性を分析し、ニーズに応じた手段を検討していく必要があると考えている。
会長	・別の手段に切り替えるなど、新たな手段について今後研究してもらいたいと思う。
事務局	・承知した。
【協議事項】	(2) 交通空白地対策について
事務局	資料に基づき、協議事項(2)を説明。 (以下、質疑応答)

副会長	・中之島地域について、前回の実証からどの点を変更する予定なのか。 ・宮本地区の相乗りタクシーのように、コミュニティセンターが需要をまとめる方法もよいと思うが、例えばスマートフォンを利用できる高齢者が増加している中で、IT化も検討してもらいたい。IT化するにあたり、費用がかかって大変だと思われるが、長岡技大の学生でも多額の費用をかけずにシステムを構築できる人はいると思われるため、長岡市と長岡技大との協定をうまく活用し、連携していただければと思う。
事務局	・中之島地域における実証の変更点について、前回の実証時のアンケート結果より、なぜ利用しなかったのかという質問に対し、「目的地まで乗せてくれない」が最も多く44%、次いで「希望する日や時間がなかった」で24%であった。前回は中之島地域内の移動に限り運行していたが、近隣市町村まで運行エリアを拡大した際にどのくらい需要があるのか調査・分析して運行方法を考えていきたい。 ・宮本地区の件については、電話をすることが手間で利用していない人もいるため、スマートフォンで予約できる仕組みは必要なことだと考えている。こちらについても今年度事業者を入れて検討を進める予定で、スマートフォンの活用も加味しながら検討を進めていく。
副会長	・近隣市町村とは主に見附市か。
事務局	・その通りである。
副会長	・見附市と連携しながらやっていただきたい。
委員	・前回の中之島地域の実証は弊社が担当した。通院等の移動実態に合わせた形で運行してもらう必要があると思う。中之島地域は広い地域であることから、運行する立場としては実証運行がやりにくい地域であると認識している。そのため、個人的には三島地域や与板地域で行うべきと考えている。 ・元気なお年寄りが増えているなかで、便利な移動ツールとして周知していくことでより利用してもらえるのではないかなと思う。また、宮本地区のように地域が主体となって動いていくことが重要になってくると思われる。

事務局	・お年寄りがスマートフォンを活用できていることは承知しているため、簡単に使用できるアプリを作り、使い方を丁寧に教えるなどし、人件費削減をしていきたい。宮本地区のほかにも課題を抱える地域も今後出てくると思われるため、展開していきたいと考えている。 ・これからプロポーザルで業者を決めたのちに、アンケートやヒアリングからニーズを把握し、どのような運行内容がいいのか検討を進めていく。
【協議事項】	(3) 令和7年度事業内容
事務局	資料に基づき、協議事項(3)を説明。 (以下、質疑応答)
委員	・バス運転士体験会について、新潟県内で体験会を実施できる場所は限られていると思われるが、会場はどちらで行うのか。
事務局	・長岡市営スキー場の駐車場を活用する。
【その他】	「くるりん」キャッシュレス決済実証実験の実績 グリーンスローモビリティ（ぐるモビ）試走実験
事務局	・資料に基づき、その他の内容について説明。 (以下、補足説明、質疑応答)
委員	・バス運転士体験会について、実施日は7/19（土）としており、現時点で3名の予約を受けている。昨年11月に実施した際には16名の参加申し込みがあり、当日は13名の方に参加いただいた。うち、1名については大型免許を取得するため自動車学校に通っており、取得後に入社予定である。7月の参加者から入社に繋がる方がいるなど、取組の効果が見える場合は、今後も実施していきたいと考えている。 ・キャッシュレス決済について、国・新潟県・長岡市から補助をいただきながら今年度の導入に向けて進めているところである。今回導入するサービスはクレジットカードタッチ決済になる。補助金額に応じて単年で全車導入するか、複数年で全車導入するか検討している段階にあるが、お客様の混乱を招かないためにも、単年で導入できればと考えている。クレジットカードタッチ決済の場合、利用履歴をその日のうちにクラウド上にアップロードし、

	各カード会社の決済日に決済される仕組みとなっているため、事前のチャージは不要である。まだ浸透していない決済手法と思われるため、スムーズに利用できるように周知方法を検討し、進めていきたい。 ・ぐるモビについて、主体として越後交通も入っているが、運行そのものはタクシーのグループ会社である株式会社カンコーが行う。7月24日にプレイベントも予定されており、広報支援を行いながら盛り上げていきたいと考えている。
副会長	・ぐるモビについて、車両としては時速20km以上出るが、あえて時速20kmで走行するものなのか。
事務局	・時速20km以上は出ないと聞いている。
副会長	・環境にやさしいという点について、グリスロそのものは環境にやさしいかもしれないが、周辺の車も遅くなってしまうと環境にやさしいとは思えない。例えば、追い越しをするために加速する際、燃料を多く使用したり、さらには危険度も増すと思われるため、グリスロの車両単体だけでなく、周辺の交通状況も把握したらよいと思われる。
事務局	・ご指摘の通り、心配していた部分である。事例を見ると観光地や小さな道での活用が多いと思うが、幹線道路でより多くのガソリンを使ってしまうのも困るため、その点も調査しながら検討したい。
副会長	・交通量が少なくなれば効果はあると考えるが、交通量が増えるとどこかで逆転し効果がなくなると考えられるため、交通量も注視していただきたい。
事務局	・承知した。
委員	・ぐるモビについて、自動運転なのか。また、定員は6人で弥彦と同等のものなのか。
事務局	・基本的には弥彦で運行している車両と同等の規模である。今回のぐるモビは自動運転ではない電気自動車で行うが、全国的には自動運転が進んできており、国土交通省でも今年度約50自治体でバス等の自動運転を実証するところである。また、2027年度

	には 100 自治体まで拡大する話も聞いているところであり、長岡市についても近い将来に自動運転バスが走る時代が近づいているのではないかと思うが、雪国であるため、そのあたりも注視しながら研究を進めていきたいと考えている。
委員	・弥彦は観光地であり、田園風景が広がっているような場所で運行しているが、長岡市の場合、交通量の多いところも含まれているので、周辺の交通の迷惑とならないよう対応いただきたい。
事務局	・弥彦の場合、交通量が激しくない場所を自動運転かつ時速 20km で走行しているためうまく運行できていると思われる。長岡市においては今回実証運行であるため、交通量が多い場所も通行しながら確認をするが、危険が生じる場合はすぐに中止するなど、交通障害にならないように気を付けながら運行していく。
委員	・ぐるモビについて、一部右折が含まれるところがあり、右折で交通に支障をきたさないような工夫が必要ではないかと思う。 ・将来的には自動運転化やインバウンドを含む観光客をターゲットにしていく必要があると考えているため、今後どのように取り組んでいくかが重要ではないか。 ・本実証は無料で利用できるのか。
事務局	・無料で利用できる。
副会長	・時刻表にアオーレ長岡の到着時刻が記載されていないが。
事務局	・すでに設置してしまったため、次回以降気を付ける。
【その他】	(以下、全体意見)
委員	・タクシーの利用状況について、コロナ前と比較して 90%まで戻ってきた。 ・今後運賃が上がる予定で乗り控えが心配されるが、会社や従業員を守るためにご理解いただきたい。合わせて最低賃金も見直しされることになっており、昨年は 931 円から 985 円と 54 円上がり、今年も同程度またはそれ以上の上昇が見込まれている。そのため、秋頃に運賃にも反映するため、ご理解を得ながらタクシー事業を継続できるように進めていきたいと考えている。 ・長岡まつりについて、昨年は 4 月や 5 月から予約が入るが、今年

	は1月から入っている状況であった。
副会長	・タクシーの需要量が9割まで戻ったという認識でよろしいか。
委員	・2019年と比較した際の需要量である。
副会長	・供給量は9割以上あるのか。
委員	・ない。
副会長	・よりタイトな状況になっているという認識でよろしいか。
委員	・その通りである。尚、1人あたりの売上は上がっている。
委員	・長岡花火のタクシー予約はどういった内容なのか。
委員	・当日は予約の電話が鳴り続けている。規制等で会場近くまで行けないなどさまざまな理由により基本的には予約を受けられない状態であるが、貸切料金とメーター料金を使い分けながら各社対応している。
委員	・花火会場までタクシーで行く場合の予約と花火会場が終わってから予約する2パターンがあるが、花火が終わってから希望の時間等に来てほしいと言われても、対応できないということか。
委員	・各社とも予約すら取れない状況になっている。利用したい場合は時間をずらして予約することをお勧めする。
副会長	・利用実績を見ると着実に増えているところはあるため、それらの知見も踏まえながら、利用者が減少しているところは下げ幅を小さくするなど頑張っていたいただきたいと思う。
【その他】	今後のスケジュールについて
事務局	・第2回協議会は来年2月を予定している。

(以上)

■協議会の様子

